

平成 25 年度

**International Safe School** 推進員養成セミナー  
「(臨時)基礎・実践セミナー」実施要項



1. 趣旨

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンターでは、平成 24 年 4 月 14 日に、スウェーデン王国カロリンスカ研究所に設置されている WHO 地域安全推進協働センター (WHO Collaborating Centre on Community Safety Promotion : WHO-CCCSP) の承認を得て、センター内に「日本 International Safe School 認証センター (Japan International Safe Schools Certifying Centre, WHO-CCCSP)」を開設するとともに、International Safe School 推進員の養成を通じたわが国における International Safe School<sup>(※1)</sup>の一層の普及と発展に取り組んでいるところです。

そこで学校危機メンタルサポートセンター並びに日本 International Safe School 認証センターでは、平成 26 年 1 月 25 日に、わが国における International Safe School の一層の普及と持続可能な学校安全推進を担う人材となる International Safe School 推進員<sup>(※2)</sup>の養成セミナーを開催いたしました。しかしながら日程の関係から受講できなかった方々から臨時開催の要望が寄せられたことを受け、改めて「基礎セミナー」と「実践セミナー」から構成される臨時養成セミナーを開催することといたしました。この臨時セミナーによる International Safe School 推進員の認定を通じて、今後のわが国の学校における安全推進に協働して活躍いただく人材のさらなる育成に取り組んでいきたいと考えております。

※1 : 「International Safe School」については本要項末の《追記 1 : International Safe School について》を、  
※2 : 「International Safe School 推進員」については《追記 2 : International Safe School 推進員について》  
をご参照ください。

2. 日時 平成 26 年 3 月 8 日 (土) 10 : 00 ~ 16 : 40

《受付は、09 : 30 より、学校危機メンタルサポートセンターで行います。》

3. 会場 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター  
(〒563-0026 大阪府池田市緑丘 1-2-10)

4. 主催 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター

5. 共催 日本 International Safe School 認証センター (JISS: WHO-CCCSP)

6. 対象

① International Safe School 推進員の資格認定を希望する学校関係者

② 日本セーフティプロモーション学会並びに日本安全教育学会の会員

7. 内容 [使用言語：日本語・中国語（逐次通訳）]

(1) 開会行事 (10:00～10:10)

(2) 基礎セミナー(10:10～12:10)

講義1：(10:10～11:10)

「日本の International Safe School が目指す活動について」

藤田 大輔 (大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター長  
日本 International Safe School 認証センター代表)

講義2：(11:10～12:10)

「台湾における International Safe School 活動について」

李明憲 (東華大学教授、台湾 International Safe School 認証センター主席)

[昼食・休憩 12:10～13:00]

(3) 実践セミナー(13:00～16:40)

講義3 [演習を含む]：(13:00～14:00)

「International Safe School 活動で取り組む防災教育について」

豊沢 純子 (大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター准教授  
日本 International Safe School 認証センター理事)

講義4：(14:10～15:40)

「International Safe School 活動における

『外傷データ記録ソフトウェア』の有効性について」

北村光司 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター主任研究員)

総合討論・レポート作成 (16:00～16:30)

(4) 閉会行事 (16:30～16:40)

閉会あいさつ

事務連絡 (認定証発行)

9. 受講費 2,000 円 (資料集・認定証)

## 10. 受講方法

受講を希望される個人ごとに、別紙「ISS 推進員養成セミナー受講申込書」を Fax によりお申し込みください。用紙が不足する場合は複写してご利用下さい。

受付手続き完了後、受付番号をご連絡いたしますので、養成セミナー当日に、会場受付にて受付番号・氏名をお申し出のうえ、受講費と引き換えに資料をお受け取りください。

- (1) 申し込み期限 平成 26 年 3 月 5 日 (水) 17 : 00
- (2) 申し込み方法 別紙「受講申込書」を Fax(072-752-9904)でお送りください。
- (3) 申し込み先 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター

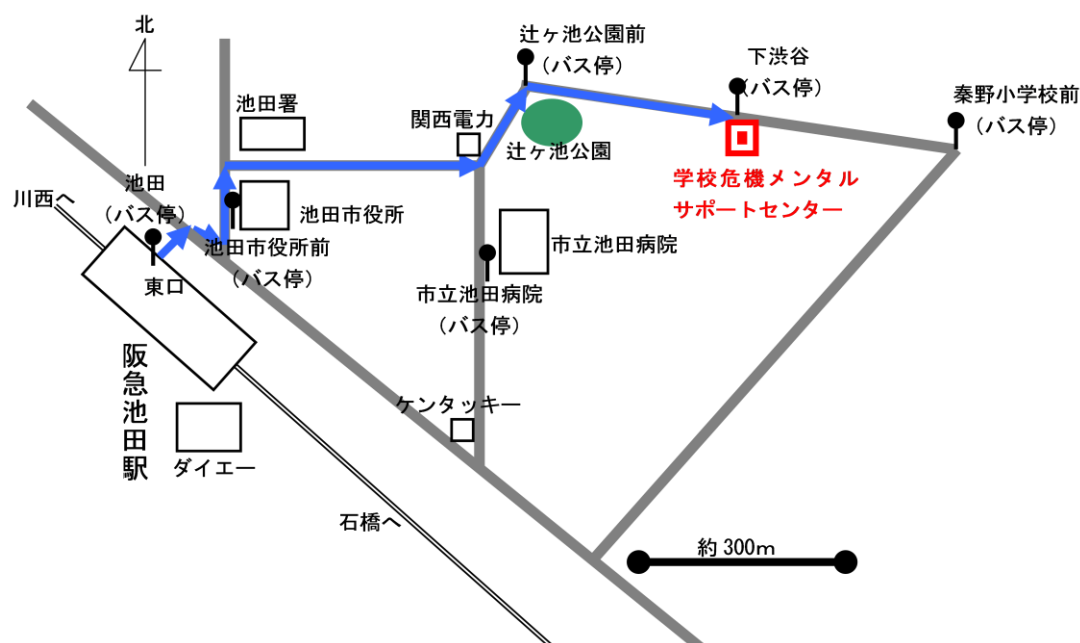
平成 25 年度 International Safe School 推進員養成セミナー係

Tel : 0 7 2 - 7 5 2 - 9 9 0 3

Fax : 0 7 2 - 7 5 2 - 9 9 0 4

※ なお、セミナー運営の都合により、受講申し込みが募集人数(30名)に達した場合は、受付を締め切らせていただくことがありますので、ご了承ください。

### ■ 阪急池田駅から会場への案内図



阪急宝塚線「池田駅」より 徒歩約 20 分

阪急宝塚線「池田駅」より 阪急バス約 10 分 下渋谷(シモシブタニ)バス停下車すぐ

伊丹空港より タクシー約 15 分

### 【注】《昼食について》

- ・会場近辺には飲食店等はありませんので、各自でご準備願います。
- ・昼食・休憩時間中(12:10~13:00)は、セミナー会場にてお食事を取られても結構です。

## 《追記 1 : International Safe School について》

International Safe School（以下「ISS」と略記）とは、WHO 地域安全推進協働センターが推進している学校園（以下「学校」と略記）の安全推進を目的とした国際的認証活動の 1 つです。具体的には、根拠に基づいた持続可能な安全推進の取り組みが実践されていると認められた学校を ISS として認証し、その認証された学校間に安全を協働して推進することを目的とした世界的なネットワークを構築し、全世界に学校安全推進の取り組みを発信することを通じて相互にその成果を共有し高めあっていこうとする制度です。この認証制度で重要な点は、「安全が完成された学校」を表彰しようとするのではなく、学校の安全について「教職員・児童（生徒・学生・幼児を含む）・保護者、さらには地域の人々が協力して、組織的かつ継続可能な取り組みが計画され実践される条件が整備されていると認められた学校」、すなわち安全をゴール（目標）とするスタートラインに立った学校を認証して、その取り組みの発展を共に高めあおうとする制度であるという点にあります。言い換えれば、現状に満足するのではなく、未来志向に基づいた安全推進の取り組みを認証しようとする制度であるといえます。このような考え方が評価され、中央教育審議会の答申を受けて平成 24 年 4 月 27 日に閣議決定された「学校安全の推進に関する計画」では、「国は、ISS などの優れた取組が各設置者の判断において進められるよう、必要な情報を収集するとともに、積極的な情報提供を行う。」と明記されているところです。なお平成 25 年 4 月現在での ISS の認証状況は、全世界で 100 校を超える学校が認証を受け、わが国では、大阪教育大学附属池田小学校が平成 22 年 3 月 5 日に日本初の ISS として認証を受け、その後、厚木市立清水小学校と豊島区立朋有小学校が認証を受けています。

## 《追記 2 : International Safe School 推進員について》

International Safe School 推進員（以下「ISS 推進員」と略記）とは、日本 International Safe School 認証センターと協働して学校安全推進の中心的役割を担う資質を有すると認定された方に対して、日本 International Safe School 認証センターが授与する認定資格です。そのため認定された ISS 推進員には、所属する学校園における ISS 認証過程において、日本 International Safe School 認証センターが実施する現地視察や現地指導に積極的に参加・協力するとともに、ISS 認証後には自校の ISS の取り組みを継続的に国内外に発信・共有していく努力が期待されています。

「ISS 推進員」として認定されるためには、日本 International Safe School 認証センターが開催する「International Safe School 推進員養成セミナー」の「基礎セミナー」と「実践セミナー」の両方を、同一年度内に受講してレポートを提出していただく必要があります。また「ISS 推進員」の認定期間は ISS の認証と同じく 3 年間とされ、「ISS 推進員」でありつづけるためには、日本 International Safe School 認証センターが開催する「International Safe School 推進員養成セミナー」の「基礎セミナー」と「実践セミナー」を、3 年ごとに受講していただく必要があります。